

【評価基準】

評価はA・B・C・Dの4段階とする。

☆保育の方法・内容評価

項目	内 容	評 価				総合評価
		A	B	C	D	
養護	① 子ども一人ひとりに丁寧に対応している	17	7	0	0	A
	② 登園時は、子どもの気持ちを考慮し対応している	16	7	1	0	A
	③ 午睡時は、一人ひとりが安心できる環境作り心掛けている	15	7	0	0	A
健康	① 排泄に関して、子どもが自ら進んで行けるような配慮や工夫をしている	12	10	1	0	A
	② 衣服の着脱に際して、子どもの意欲を大切に、着脱しやすいよう配慮している	13	10	1	0	A
	③ 活動に際して、子どもが健康・安全に過ごせるような内容・環境を工夫・配慮している	13	10	0	0	A
人間関係	① 相手の気持ちがわかるような声掛けや援助を行っている	17	7	0	0	A
	② ルール（きまり）の大切さを伝える工夫をしている	15	9	0	0	A
	③ 色々な人との交流が持てるように工夫している	13	9	2	0	A
環境	① 身近な自然に興味・関心が持てるよう工夫している	15	7	1	0	A
	② 地域との交流が持てるよう自ら積極的に働きかけている	6	8	9	0	C
	③ 集団生活の中での過ごし方や役割について気付けるよう工夫をしている	11	8	4	0	A
言葉	① 読み聞かせの時間を大切にしている	12	10	1	0	A
	② 子どもが話しやすい雰囲気作りを心掛けている	16	8	0	0	A
	③ 子どもの言葉にしっかり耳を傾けている	11	12	0	0	A
	④ 生活に必要な簡単な文字・記号等に、興味や関心を持てるよう配慮している	10	9	3	0	A
表現	① 言葉、絵、造形、音など、子どもが最も得意な方法で、見たもの感じたものを表現することを大切にしている	11	10	2	0	A
	② 自由に表現できる環境作りを心掛けている	12	9	2	0	A
	③ 道具の正しい使い方を、一人ひとり丁寧に教えたり、見守ったりしている	14	7	3	0	A
乳児保育	① 授乳は、一人ひとり丁寧に行っている	10	5	1	1	A
	② 離乳食については、一人ひとり丁寧に行っている	10	6	1	0	A
	③ おむつ交換をする際は、乳児の気持ちを考慮し対応している	13	9	0	0	A
	④ 寝かせる際は、一人ひとりが安心できる環境作りを心掛けている	15	5	0	0	A
	⑤ 乳児の発達段階を理解し、個々の成長や場面々での適切な対応に努めている	11	8	3	0	A
	⑥ 一人ひとりを細かく把握し、丁寧に対応している	9	9	4	0	B
長時間保育	① 長時間（延長）保育のために、家庭的な雰囲気を作ることに配慮している	10	8	2	0	A
	② 子供のその日の様子を職員間で伝達し、連絡帳等の内容を検討しながら確実に保護者に伝わるようにしている	12	5	1	0	A
	③ 子供の不安な心に寄り添い安心して待てるよう意識している	13	8	0	0	A
子供の人権	① 子供の人権への配慮や、互いを尊重する心を育てるための具体的な取り組みを行っている	13	8	3	0	A
	② 性差別へ先入観による固定的な対応をしないよう配慮している	17	6	1	0	A